

2014年12月3日

メカトロニクス制御技術委員会 (MEC)

## 第8回メカトロニクス制御技術委員会

**【日時】** : 2014年12月1日(月曜日) 14:30 - 17:20

**【会場】** : 芝浦工業大学 芝浦キャンパス6階 608室

〒108-8548 東京都港区芝浦3-9-14

### 【出席者】:

委員長: 島田 明(芝浦工大)

一号委員: 熱海武憲(HGST), 池田英俊(三菱電機), 岩崎 誠(名工大), 梅村 敦史(北見工大), 桂誠一郎(慶應大), 鈴木昌和(東海大), 辻俊明(埼玉大), 滑川 徹(慶應大), 平田光男(宇都宮大), 藤本博志(東大), 山口 高司(リコー), 涌井伸二(農工大)

二号委員: 伊藤和晃(豊田高専), 内村 裕(芝浦工大), 大西公平(慶應大)

幹事: 関 健太(名工大), 名取賢二(千葉大)

幹事補佐: 佐藤 基(東洋電機製造), 元井直樹(神戸大)

オブザーバ: 南方英明(千葉工大)

### 【配布資料】:

- 8-0 第8回メカトロニクス制御技術委員会 議事次第
- 8-1 第7回メカトロニクス制御技術委員会 議事録(案)
- 8-2-1 平成26年度 メカトロニクス制御技術委員会 活動報告
- 8-2-2 平成27年度 活動計画(1次案)
- 8-5-1 生体運動制御協同研究委員会 活動報告
- 8-5-2 精密サーボシステムの多様性探求調査専門委員会 活動報告
- 8-5-3 実世界ハプティクスの高度化共同研究委員会 活動報告
- 8-6 ロボティクスに関する特別講演会(案内)

### 【議事】

#### 1. 前回議事録(案)確認 資料8-1

名取幹事より、第7回メカトロニクス制御技術委員会の議事録(案)の内容についての説明があり、その確認を行った。議事録(案)の通り承認した。

- ・ 実世界ハプティクスの高度化協同研究委員会の設置趣意書について、技術報告を出さない方針であるのかとの問い合わせがあったが、技術報告は出版の予定であり、書面には明記していないということであるとの確認をおこなった。

- ・ 今後の技術報告の執筆者選定の際には、委員会で話題提供をいただいた方に限定せず、企業・大学を含め幅広く依頼してもよいのではないかと意見が出た。
2. 平成 26 年度 メカトロニクス制御技術委員会 活動報告 について 資料 8-2  
島田委員長より、技術委員会についての活動報告があった。
    - ・ SAMCON の開催により、研究会の論文数が劇的に減少するため、発表賞の割当数が減少することが見込まれ、アクティビティが低下したとの認識をされかねないとの意見がでた。
    - ・ SAMCON の論文数を研究会の論文数と同等であるとして活動報告や一次案、二次案にも記載し、発表賞などもその数をベースに割り当ててもらえるよう、研究調査運営委員会で委員長からお願いすることとした。
  3. MEC 優秀論文賞表彰式および発表講演会について  
名取幹事より、当該の件について昨年度どのように開催したかの説明があった。
    - ・ MEC 発表賞の件数については、本部および部門表彰の数に応じて、点数の集計を担当する名取幹事が決定することとなった。基準は 12 件程度とする。
    - ・ 優秀論文賞表彰式および発表講演会の開催は 2015 年 1 月 7 日（水）と決定した。
    - ・ 名取幹事がなるべく早く集計を行い受賞者に案内を送信することとなった。
  4. 産業応用フォーラムについて（生体運動制御（協））  
島田委員長より、生体運動制御（協）による産業応用フォーラムについて報告があった。
  5. MEC の HP について  
元井幹事補佐より、先日運用が開始された MEC の HP について報告があった。
    - ・ 内容を充実させるため、委員に適切な写真の提供をお願いするとともに、どのようなコンテンツが魅力的であるかのアンケートを行うこととした。
    - ・ 優秀論文発表賞の受賞者を毎年掲載することとした。
  6. 傘下委員会からの活動報告
    - 生体運動制御（協）委員会 資料 8-5-1
      - ・ 第 6 回委員会を 6 月 13 日に慶應義塾大学で開催した。
      - ・ 第 7 回委員会を 8 月 28 日に東京電機大学で開催した。
      - ・ 産業応用部門大会において、シンポジウム「生体の運動解析とモーションコントロールへの展開」を 8 月 28 日に開催し、5 件の講演を行い、参加者は約 40 名であった。
      - ・ 産業応用フォーラム「四肢の運動を支援する医療・介護機器の技術動向」を 11 月 18 日に大宮ソニックシティで開催し、4 件の講演を行い、参加者は 26 名であった。
      - ・ 第 8 回委員会を 12 月 4 日に開催予定である。
      - ・ ICM2015 において企画される 2 足歩行およびリハビリテーション工学の OS にそれぞれ協賛し投稿を呼びかける。
      - ・ SAMCON2015 において以下の Invited Session を企画している。  
“Bio-inspired Motion Control”

Organizers: Prof. Toshiaki Tsuji, Saitama University

Prof. Tomoyuki Shimono, Yokohama National University

- 精密サーボシステムの多様性探求（調）委員会 資料 8-5-2
  - ・ 第 1 回委員会を 12 月 10 日に東京大学柏キャンパスで開催予定である。
  - ・ ICM2015 において Special Session “Advanced Control Technologies for Nanoscale Servo Systems” を企画している。6 件の投稿があり、現在査読中である。
  
- 実世界ハプティクスの高度化（協）委員会 資料 8-5-3
  - ・ 第 1 回委員会を 1 月に芝浦工業大学で開催予定である。
  - ・ 第 2 回委員会を SAMCON2015 の期間中に名古屋工大で開催予定である。
  - ・ SAMCON2015 で Invited Session を提案しており、デモンストレーション主体で 6 件の発表を予定している。  
⇒この件については 12 月 3 日の SAMCON 幹事会でどのように実施するかを議論することとなった。
  - ・ ICM2015 において、OS “Real-World Haptics for Human Support” を提案している。
  - ・ 2015 年産業応用部門大会においてシンポジウムを開催予定である。

以上